

大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんをご紹介します

あめやしきあはと 飴屋敷跡



吾平町上名



ナビゲーター

鹿屋市
文化財保護審議会委員
ひろなり
海老原 寛業 さん

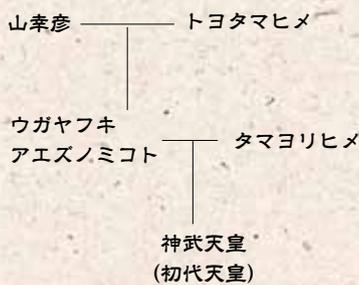


吾平町上名の飴屋敷跡。実はこの場所は「吾平山上陵」とも深い関わりがある場所です。

今回は鹿屋市文化財保護審議会委員で吾平山上陵ガイドでもある海老原さんに飴屋敷跡について紹介していただきました。

ご存知のとおり「吾平山上陵」には初代天皇である「神武天皇」の両親「ウガヤフキアエズノミコト」、「タマヨリヒメ」の御霊が祭られています。

「ウガヤフキアエズノミコト」のお話は、日本初の歴史書



とされる「古事記」や「日本書紀」といった1,000年以上も前に書かれた書物に「日向神話」として紹介されています。さて、吾平町の地名としても残る飴屋敷跡ですが、この場所も神話の舞台として大変大きな役割を果たしています。話は「ウガヤフキアエズノミコト」を母「トヨタマヒメ」が出産した時までさかのぼります。

「トヨタマヒメ」は夫の「山幸彦」に、「出産の時は本来の姿に戻らなければなりません。絶対に見ないでください」とお願いしました。



実は「トヨタマヒメ」は海の神様であり、本当の姿は大きな「わに」でした。しかし不思議に思った「山幸彦」は、約束を破り覗いてしまいます。心外に思った「トヨタマヒメ」は産んだばかりの「ウガヤフキアエズノミコト」を残し、海に帰ってしまいました。

乳飲み子を残された「山幸彦」は悲嘆にくれました。そこに一人の老婆が現れ、母乳の代わりに飴を練り、その飴のおかげで成育できたそうです。

この飴屋敷跡はその飴を差上げた人の住宅跡と伝えられており、現在敷地内には案内看板や昭和10年の地方行幸で昭和天皇が吾平山上陵を訪問された際の記念碑が残っています。

皆さんも「吾平山上陵」を訪れた際には、飴屋敷跡にも立ち寄って、神話の世界に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。